



なっとくん

For School メールマガジンWebページ

NEWS



YAMAGUCHI MUSEUM
山口県立山口博物館

2014年 2月 11号



今年度新たな出前授業の学習プログラムとして始めた「理科ものづくり教室」
おかげさまで、今年度、23団体、849名の児童の皆さんからの利用がありました。ありがとうございました。

博物館のここがすごい！(MTとっておきの話)

理科ものづくり教室③



理科ものづくり教室の出前授業を申し込まれる際、以下の事項を踏まえて申し込みを頂けると幸いです。

単元学習の一環

- ・学習指導要領をふまえた、「ものづくり」教材！「単なる工作ではありません。」
- ・対象学年に応じた学習プログラムでの実施を推奨！
- ・製作、関連学習を含め90分での実施をお願いします。
- ・提供する教材は基本形です。応用、工夫により、科学への興味関心が深まります。

学習効果を最大限に引き出すために

- ・最大35名以下の同一学年による実施を推奨！（複式学級では、多学年でも可）
- ・大人数（多学級）の場合は実施時間をずらす等の工夫をお願いします。

材料費の一部の利用者負担（平成26年度から）

・乾電池、乾電池ボックス、豆電球（ソケット含）、エナメル導線等、一部の材料は利用者負担となります。（授業で使用しているものを活用すると安価に実施できます）



ゆらゆらカップ (3・4年生対象)
100円～360円程度の負担



豆電球で回るプロペラ (6年生対象)
800円～1500円程度の負担
改良による負担額減の予定



ヨットのような風の (3年生対象)
190円程度の負担





トコトコバッタ ピョンピョンガエル
ストローのみで作るストローノミ
(1年以上 生活科 負担なし)



ストローロケット (5年生対象)
170円～240円程度の負担



製作「豆電球で回るプロペラ」

2月4日(火)の宇部市立厚東小学(西村 司 校長)6年生17名の皆さんと「発電と電気の利用」の学習で、「理科ものづくり教室(豆電球で回るプロペラ)」の出前授業を行いました。はじめに、豆電球の点灯でなぜプロペラが回るのかを考えた後、「豆電球で回るプロペラ」を製作しました。その後、手回し発電機やコンデンサを使って、乾電池なしでプロペラを回す実験をしました。製作や実験を通して電気が光や熱に変わることや発電や電気をたくわえるはたらきについて学習しました。

2月18日(火)美祢市立綾木小学校(佐々木 宏志 校長)3・4年生9名の皆さんと「電気の通り道」「電気のはたらき」の学習で、「理科ものづくり教室(ゆらゆらカップ)」の出前授業を行いました。

電気を通すものと通さないもの、回路のしくみを学習した後、「ゆらゆらカップ」を製作しました。電流を流したら豆電球が点灯し、磁石をつけたストローがゆらゆらゆれはじめます。みんな思い思いのかざりをつけたり、ストローの形を工夫したりして、楽しい作品を完成させることができました。

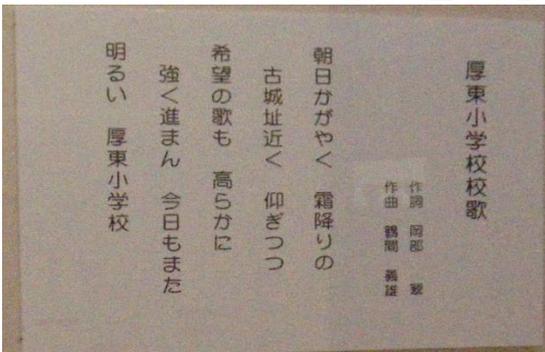


製作「ゆらゆらカップ」

理科ものづくり教室の詳細については メールマガジン 2013年9号・2014年10号も参照ください。詳しくは博学担当(MT)までお問い合わせください。

MTのここがすごい!(博物館の展示から)

1月28日(火)～2月16日(日)まで開催されましたテーマ展「長門国守護 厚東氏の興亡」の展示の中で、出前授業で訪問した、厚東小学校に関する展示がありました。厚東小学校の校歌の一節に歴史の重みを感じることができます。



宇部市棚井、霜降山のふもとにある厚東小学校の校歌です。一番の歌詞で「霜降りの古城址近く」と霜降城が出てきます。このように宇部近郊の小中学校の校歌には「霜降」や「城山」などの言葉が多く登場します。地元の人々の霜降城に対する深い思いが感じられます。(以上展示解説参照)